



連合かながわ機関紙・カレント

CURRENT

No.264

日本労働組合総連合会
神奈川県連合会(連合神奈川)〒231-0023 横浜市中区山下町24-1
ワークピア横浜4F

TEL. 045(211)1133 FAX. 045(201)8866

発行責任者: 林 克己

『2018新春の集い』を開催 次代を展望し変化を!



「働き方改革」中心に活動を展開

連合神奈川 会長 柏木 教一

あけましておめでとうございます。

旧年中は連合神奈川の運動に様々なご協力をいただきましたことに厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は北朝鮮問題をめぐる動きがロシア・中国・日本・アメリカなどに一定の影響を与えた年だったと思います。アジアの特異な政治体制を持つ小国が国際社会の秩序へ挑み、なかなか収束を見ない中で、我が国もまた振り回されている感があります。この動きは、我が国の政治体制にも影響を与えました。

今、時代は世界全体がいわゆる技術的特異点「シンギュラリティ」に向かい、大きな分岐点に立っているにもかかわらずです。人類の知性を有効に活用すべきだと思います。

最近、私は持続可能性について述べております。

国連のSDGs (Sustainable Development Goals) 「持続可能な開発目標」は、2015年9月の国連サミットで採択され、「人々と地球のために、私たちの世界を転換させよう」という理想を掲げ取り組んでいるビッグプロジェクトです。それぞれの国で、それぞれの企業で、それぞれの団体で取り組むべき課題が示されています。今後、企業のCSRの上からも、またそれぞれの団体の活動の上からも留意しなければならないと考えています。

労働組合である私たちが着手すべきは、「すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する」という点です。

喫緊の課題は「働き方改革」であると思います。働く者が擦り切れてしまっただけでは、未来への展望が芽生えるはずがありません。とりわけ、非正規雇用で働いている方々も含めた「同一労働同一賃金」「ワークライフバランス」「女性参画」など強化し、さらには「格差の広がり防止」と、個人消費を上向けるための「底上げ・底支え」に注力していきます。今時の春季生活闘争においても、「働き方改革」を中心に展開します。

連合神奈川は2020年に30周年を迎えます。次の時代を展望して変わっていかねばならない年だと考えています。皆様方のますますのご協力をお願いいたします。

連合神奈川は、1月9日ロイヤルホールヨコハマで新春の集いを開催。来賓・産別関係者・役員など約485名が参加した。

主催者を代表し柏木会長が挨拶(別掲)。来賓として神奈川県黒岩知事、横浜市林市長、相模原市加山市長、川崎市伊藤副市長、神奈川県経営者協会石渡会長から挨拶をいただいた。

その後、各級議員、各自治体首長からもマイクリレー形式で挨拶。2018年の力強い幕開けとなった。

連合神奈川当面のスケジュール

【2018春季生活闘争総決起集会】

3月1日(木)18:30~
横浜市教育会館

【第89回かながわ中央メーデー】

4月28日(土)10:00~
臨港パーク

「2018年度に向けた政策・制度要求と提言」回答を受領



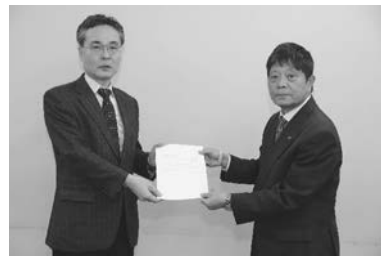
▲ 12月19日神奈川県



12月13日川崎市 ▲



▲ 12月26日相模原市



12月18日神奈川県労働局 ▲

連合神奈川は12月13日の川崎市を皮切りに、18日神奈川県労働局、19日神奈川県、22日横浜市、26日相模原市と政策制度要求に対する回答を受領し意見交換をした。

各行政からは「要求と提言の内容については関係部局と精査した上で回答した。財政的に厳しく予算の上積みが見込めない状況であり、十分でない回答もあると思うが知恵を出しながら対応してまいりたい」等の挨拶を受けた。柏木会長からは「丁寧な回答に感謝したい。将来的に増大する行政コストを見据えた、持続可能性のある政策が求められている。いただいた回答についてはフィードバックするとともに、各行政の考え方を伝えていきたい」旨の挨拶をした。



12月22日横浜市 ▲

青年委員会第28回総会を開催

連合神奈川青年委員会は12月15日(金)、ワークピア横浜にて第28回総会を開催。役員・代議員らを含む70名が参加し、新年度の活動方針などを決定した。



女性委員会第28回総会・学習会



連合神奈川女性委員会は12月8日(金)、崎陽軒本店1号室にて第28回総会を開催し、代議員・役員含め80名が参加した。

総会終了後、学習会「ライフコーポレーション女性活躍推進」を開催した。



ピークカットアクション21

節電のススメ

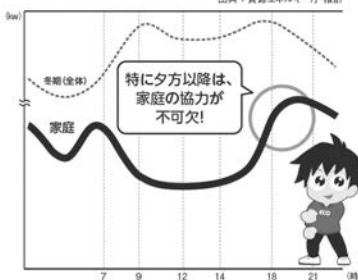
冬のヒント

冬のピークカットは夕方!

夏と冬では、1日の電力の使われ方に違いがあります。夏は13:00~16:00頃の午後の時間帯が1日のピークとなる傾向が強いのですが、冬においては、9:00~21:00頃まで一日を通じて使用量が多い状態が続きます。家庭においては、特に18:00以降のピークカットアクションが求められます。※地域の電力事情をご確認ください。

冬期平日の電気の使われ方(イメージ)

出典:資源エネルギー庁 推計



http://www.rengo.or.jp/ 2017 連合エネライ21